

福井県立若狭高等学校 スクールポリシー

スクールミッション

異質のものに対する理解と寛容の精神を育むため、生徒同士の多様な交流や地域と世界をつなぐグローバルな対話を促進し、教科学習のさらなる充実と「地域資源活用型探究学習カリキュラム」の発展による課題研究の高度化を通じて、教養豊かな社会人を育成し、地域社会はもとより国際社会の持続的な発展にも貢献する。

教育目標

「異質のものに対する理解と寛容の精神」を養い、教養豊かな社会人の育成を目指す。

各学科のアドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・グラデュエーションポリシーについて

普通科

【アドミッションポリシー】 求める生徒像

1. 様々な人や価値観と出会い、理解し合おうとする意欲を持つ生徒
2. 地域や世界とつながり、自らの可能性を広げたいと考える生徒
3. 学びに対する好奇心を持ち、探究する姿勢を大切にできる生徒
4. 将来、地域や社会の持続的な発展に貢献する力を身につけたい生徒

【カリキュラムポリシー】 教育方針

教科の深い学びを通じた教養の育成
探究的な学びを通じた課題設定・解決力の育成
多様な交流・対話を通じたグローバルな視点の育成
キャリア教育を通じた将来設計力の育成

【グラデュエーションポリシー】 卒業までに育成する生徒像と資質・能力

教養豊かな社会人としての基礎力を有する生徒
探究的に学び続ける姿勢と実践力を有する生徒
多様な価値観を尊重し、地域・社会に貢献する力を有する生徒

国際探究科

【アドミッションポリシー】 求める生徒像

グローバルな課題に対して関心を持ち、その解決に向けた探究活動に取り組める生徒
国際的な交流に関心を持ち、積極的なコミュニケーションを図ることができる生徒

【カリキュラムポリシー】 教育方針

各教科と探究活動での学びを往還しつつ、多様な他者やもの（教材）との対話や地域との協働を通じて課題を発見したり、課題を追究したりする思考力や粘り強さを育むとともに、グローバル人材の育成に必要な高度な語学力や異文化に対する好奇心や寛容の精神を養う。

【グラデュエーションポリシー】 卒業までに育成する生徒像と資質・能力

「異質のものに対する理解と寛容」を国際的視点で具現化できる知性と行動力を持ち、対話を通じて新しい価値を創造し、グローバルな課題の解決を探究し続ける生徒

理数探究科

【アドミッションポリシー】 求める生徒像

数学や理科に強い関心を持ち、主体的に学ぶ姿勢と、他者と協力して学ぶ意欲がある生徒
課題を自ら見だし、多角的に考察しながら解決を目指す探究心を持ち、将来、科学技術分野での活躍を目指す生徒

地域や社会の課題に関心を持ち、自ら考え、行動して貢献しようとする意欲のある生徒

【カリキュラムポリシー】 教育方針

数学・理科の発展的な学びを通して、論理的思考力と科学的リテラシーを育成する
探究活動、実験・観察・フィールドワークを重視し、主体的に学ぶ力を養う
地域や海外との連携、外部機関との協力を通じて、協働力、表現力、発信力を高める

【グラデュエーションポリシー】 卒業までに育成する生徒像と資質・能力

数学・理科に関する高度な知識と技能を身に付け、論理的に思考・表現することができる生徒
自ら課題を発見し、多面的な視点で考察しながら、主体的に探究活動に取り組むことができる生徒
協働的に課題解決に取り組み、学びを社会に活かそうとする姿勢と、継続的に学ぶ意欲を持つ生徒

海洋科学科

【アドミッションポリシー】 求める生徒像

水産海洋に対して興味関心を持ち、学びに対する主体性を持った生徒
地域と社会の水産海洋関連の諸課題に興味を持ち、水産の学びをいかして課題解決に貢献する意欲を持つ生徒

水産海洋の学びに対応できるよう中学校で学ぶべき教科の基礎学力を有した生徒

【カリキュラムポリシー】 教育方針

主体的・対話的で深い学びを実現する授業を行い、目標とする資質・能力を養う。
生徒自らの興味に基づく主体的な探究活動を進める。

地域や企業、大学、行政等との共育を通して、地域の水産海洋関連課題の解決に取り組むことのできる能力を養う。

台湾などの海外の海洋研究施設や教育機関と連携をすることで様々な意見があることを学び、グローバルな場で活躍できる能力を身に付け、地域に還元できる力を養う。

若狭地域の豊かな自然の中で、フィールドワークや実習を通して水産海洋への興味関心を持たせる。

【グラデュエーションポリシー】 卒業までに育成する生徒像と資質・能力

水産海洋の学びを通して、自らの人生を主体的に歩む力、多様性を認める力、共感する力を身に付け、地域水産業の成長産業化に貢献し、地域未来の well-being を実現できる生徒